

下水道における技術開発に関する説明会支援業務

調査研究年度：2018年度

低炭素下水道システム・創エネ・再生可能エネルギー

国土交通省

【調査・研究目的及び成果】

下水道事業は様々な課題を抱えており、新下水道ビジョン加速戦略においても社会状況の変化等に対応し下水道の持続性をさらに高めるために、より効果的・効率的な技術開発が求められている。

そこで、これまで下水道における技術開発の経験がない他分野企業と下水道業界とのマッチングの場として、国土交通省下水道部主催の説明会が開かれた。

国土交通省としても初の試みであり、機構はコンセプトの整理から講演者及び技術紹介者の選出や説明会当日の事務局対応など、説明会全体にわたり運営支援を行った。

【結果の概要】

当日のプログラムを図-1に示す。

講演者や技術紹介者も含めて自由な交流の場となるよう、第1部のトークセッションと第2部のネットワークセッション（交流会）の2部構成とした。下水道以外の講演及び多分野技術紹介として、CO₂削減を目指した都市づくりや風力発電、消化ガス及び消化ガス精製設備、省資源ステンレス鋼、蓄熱と幅広いものとなった。紹介技術の選定・依頼にあたっては、関連協会の協力をいただいたケースもあり、下水道業界との新たな繋がりが得られたことも成果であった。

聴講者は70名以上を数え、その内訳は下水道関連メーカーが大半を占めていたものの、下水道施設の維持管理関連、コンサルタント、政令市の他、下水道以外の企業の参加者も多かった。

第2部も、スピーカーを囲んでいくつもの輪ができ、聴講者同士の会話も弾み、終始和やかな雰囲気にも包まれていた。

なお、アンケートの回答率は40%超であった。「面白かった、興味をひかれた」内容として回答の多かったものは、基調講演の他、蓄熱、消化ガス及び消化ガス精製設備などであった。また、今後、下水道分野でマッチングを期待する分野（複数回答）は、ICT（54%）、ロボット（23%）、材料工学、発電、電池（いずれも12%）の順であり、ICTに対する関心の高さが伺えた。

下水道に新たな風を	
主催 国土交通省水質部・国土保全下水道部	
日時 平成31年2月21日(水) 9:30～	
場所 公明利国ビル 日本下水道新技術機構	
第1部トークセッション	
9:30～	開会・冒頭挨拶 国土交通省 下水道企画課長 山田哲也
9:35～	下水道業界への招待 九州大学名誉教授 横田哲也様
10:05～	CO ₂ 削減に向けた都市づくり 森ビル株式会社 渡辺在児様
----- 休憩10分 -----	
10:50～	下水道において求める技術像と技術開発 国土交通省 下水道企画課調整官 阿部千穂
11:00～	多分野技術紹介 株式会社シルフィード 久保昌也様 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 石田尚司様 新日鐵住金ステンレス株式会社 西村敏和様 日本環境技術株式会社 角田博平様
12:10～	名刺交換、質疑応答
第2部ネットワークセッション(交流会)	
12:30～	意見交換

図-1 説明会当日のタイムテーブル



写真-1 講演及び技術紹介聴講者



写真-2 交流会の様子

【特徴等】

- 国土交通省初の試みとして、マスコミ数社に写真付きで取り上げるなど、注目を浴びた。
- 説明会の構成、紹介技術の選定も含め、4ヵ月間で検討した。

問い合わせ先：資源循環研究部 藤本 裕之、町田 直美、梅染 俊行、山科 健一【03-5228-6541】

キーワード

マッチングイベント